

環境防災科の学び

何に取り組み

自然環境・社会環境を科学的視点から理解し減災に繋げる／心のケア／国際情勢／卒業研究(課題探究)／夢と防災(進路研究)／SDGsと防災

震災体験の語り継ぎ／長田まちあるきとレポート作成／防災教育プログラムの開発と出前授業／グループ討議やプレゼンテーション

震災体験者や専門家(外部講師)の授業／校外学習／国際交流／被災地支援／インクルーシブ防災／ボランティア／消防学校体験



どんな力をつけるか

知識・技能

Survivor(生き残れる人)
Supporter(他者を支えられる人)
Citizen(市民としての役割を自覚し行動できる人)

になる！

<授業例>

2・3年「社会環境と防災Ⅰ・Ⅱ」:災害への備え、緊急対応、被災者支援、復興、まちづくり、福祉、教育、法律など、社会の防災力を高めるために必要なことを幅広く学びます。『架空のまちの防災体制』などの課題に取り組みます。

思考力・判断力・表現力

臨機応変な行動力、リーダーシップを身につける！

<授業例>

2・3年「Active防災Ⅰ・Ⅱ」:SDGsとも関連させながら、世界の災害や防災事情を学びます。防災学習ゲームの考案・発表にも取り組みます。

1・2年「環境と科学」:地震・火山噴火・土砂災害など災害のメカニズムを学びます。実験、人と自然の博物館見学、六甲山フィールドワークなどを行いレポート作成します。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

災害による苦しみや悲しみを繰り返さないために自分は何をすべきか、どんな協力が必要か考える！

<授業例>

1年「災害と人間」:阪神・淡路大震災の経験と教訓を受け継ぐため、消防・警察・ライフラインなど様々な方からお話を聞きます。学んだことは壁新聞にまとめたり、出前授業などで伝えます。小学生と安全マップも作成します。

普通科目
(選択)

環境防災
専門科目

普通科目
(必修)

*その他の専門科目:「自然環境と防災Ⅰ・Ⅱ」(1, 2年)、「環境防災講読」(2年選択)、「防災情報Ⅰ・Ⅱ」(1年, 3年選択)、「卒業研究」(3年)、「人と社会」(3年)

環境防災科の教育課程の3分の1は専門科目です。2, 3年生では選択科目もあり、大学進学や公務員志望などの進路希望に応じて必要な学習ができます。担任や専門科目の担当教員は、レポートや課題作成を通して生徒一人一人の希望や適性を把握し、進路実現に向けてきめ細かく助言・指導を行っています。

環境防災科で過ごす3年間

勉強、学校行事、ボランティア…どんなことにも全力で取り組みます！

後輩は先輩の姿をみながら協働することで、主体性やリーダー性を身に付けていきます。



長田まちあるき



消防学校体験入校



防災ジュニアリーダー

★環境防災科の生徒に聞きました★

「環境防災科に入学して感じたことは？」 1年生 (25期生)

夢に向かっていくという実感がわいた/ボランティア活動がたくさんある/大変なこともあるけど、いろいろ学べる/普通科では体験できないことができる学科/クラスの仲が良くて楽しい/学校外に出ていくことが多いから、日々の授業から結構敵しい/元気な人が多い/グループワークが多くて、自分が思いつかなかったことが聞けてためになった/いろんな人と関わって、協力して積極的に頑張っていきたい/挨拶など社会に出た時に絶対必要なことを学ぶことができる/みんな優しく、しゃべりやすい/先輩方も優しく話しかけてくれて温かい雰囲気/やるべきことをしっかりこなすことが大切だと思った

「今、力を入れて頑張っていることは？」 2年生 (24期生)

楽しく防災を学ぶこと / BEYOND30+の活動/いろんなボランティアに参加すること/進路に向けての体力づくり/進路に向けての勉強/コツコツ勉強をすること/みんなと協力すること/部活動と環境防災科の活動の両立/部活動と防災ジュニアリーダーの活動の両立/たくさんの人と話す/授業で学んだ防災の知識を祖母の友達に伝えること/被災された方の気持ちに寄り添った支援の方法を考えること/安心感を持ってもらえるような人との接し方/周りの人に防災意識を高めること

「夢と防災、どうつなげる？」 3年生 (23期生)

情報弱者をICTの力で助ける人になりたい/観光業に携わり、地域の魅力を発信するとともに、地域の防災力を高めたい/自宅のリフォームを通して、誰もが安心して生活できるようにしたい/消防に入庁して、高度救助隊員になりたい/機動隊員になって、地域の安全を守りたい/児童福祉士として、災害時の子どもの心身の安全を守りたい/客室乗務員として安全な空の旅を実現させたい/災害支援ナースとして被災者の力になりたい/スポーツを通して人々を元気にしたい/教員として自助の大切さを伝えたい

★授業以外でのさまざまな活動★

- 防災ジュニアリーダー育成事業 (兵庫県)
- 地域交流・ボランティア (防災訓練、イベントなど)
- 垂水消防署での体験活動
- 学校間交流 (小中学校へのお出前授業、特別支援学校との共同学習、南あわじ市・宮城県多賀城高校との連携事業など)
- BEYOND 30+
- 募金活動
- 被災地交流 (石川県)



募金活動



小中学校へのお出前授業



垂水消防署体験



国際交流



被災地交流

活躍している卒業生を紹介します



河越 悠太さん(42回生)

私が環境防災科に進学した理由は、消防士になるためでした。しかし、3年間「教訓を語り継ぐ」ために学び、活動する中で、防災教育に携わる「教員」の魅力にも気付くことができ、高校教員への道に進むことにしました。私にとって環境防災科は、夢に対する視野を広げてくれた場所です。今後は、目の前の生徒に誠実に向き合いながら、自分自身も成長していきたいと考えています。数年後、「教員」として環境防災科の生徒達の活動を支援する日を目指してこれからも精進してまいります。



埴 来知さん(46回生 武庫川女子大学 建築学部 景観建築学科)

夢を持ち始めたころは、災害に強い建物を設計して、被害を減らしたいと思っていましたが、授業やボランティア活動を通して、まちづくりや生活再建などにも興味を持つようになりました。環境防災科の授業やボランティア活動から多くの刺激を受けて思考を深め、視野を広げることができたおかげです。きっと、環境防災科でしか体験できないことってたくさんあると思います。失敗を恐れず挑戦してみてください。私は環境防災科での経験を活かして、これからも頑張っていこうと思います。



中野 元太さん(30回生 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター准教授)

JICA海外協力隊などでの活動を通して、防災教育や被災地支援に取り組んできました。

現在は外部講師として、母校環境防災科の後輩に自らの経験を伝えています。

「世界視力を備えた次世代トップ研究者育成プログラム(L-INSIGHT)」第1期フェロー
詳しくは動画をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=eq8tqs2A3t4&t=6s>

卒業生の主な進路

<進学> 兵庫県立大学環境人間学部／神戸市外国語大学／静岡大学理学部／奈良県立大学地域創造学部／愛媛大学社会共創学部／島根大学総合理工学部／中京大学現代社会学部／日本体育大学体育学部／関西大学社会安全学部・文学部／立命館大学経営学部／甲南大学法学部／近畿大学法学部／関西外国語大学外国語学部／京都産業大学国際関係学部・経営学部／神戸親和大学教育学部／佛教大学社会福祉学部／神戸学院大学現代社会学部・法学部・総合リハビリテーション学部／兵庫医科大学薬学部・看護学部／武庫川女子大学建築学部・食物栄養科学部／姫路大学看護学部／兵庫大学看護学部／大阪体育大学／川崎医療短期大学／神戸市医師会看護専門学校／兵庫県立総合衛生学院 など

<就職(大学卒業後も含む)> 神戸市消防／明石市消防／三木市消防／尼崎市消防／宝塚市消防／東京消防／海上保安庁／自衛官／神戸地方検察庁／兵庫県警／刑務官／衆議院衛視／神戸市交通局／明石市役所／三木市役所／大阪市役所／大学研究員／小・中・高等学校教諭／保育士・幼稚園教諭／看護師／理学療法士・作業療法士／栄養士／テレビ局／鉄道／通信／ライフライン／空港／製造業／観光業／まちづくりコンサルタント／信用金庫 など

環境防災科をもっと知りたい方は・・・

【ご覧ください】・兵庫県立舞子高等学校ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~maiko-hs/index.html>

・環境防災科 Instagram ユーザーネーム:canbous1.17

【ご参加ください】・オープンハイスクール:令和8年7月30日(木)・31日(金)

・学校説明会(推薦入試説明会)

:令和8年10月24日(土)午前(全県の中学生・保護者対象)

(令和8年5月末日時点の予定)